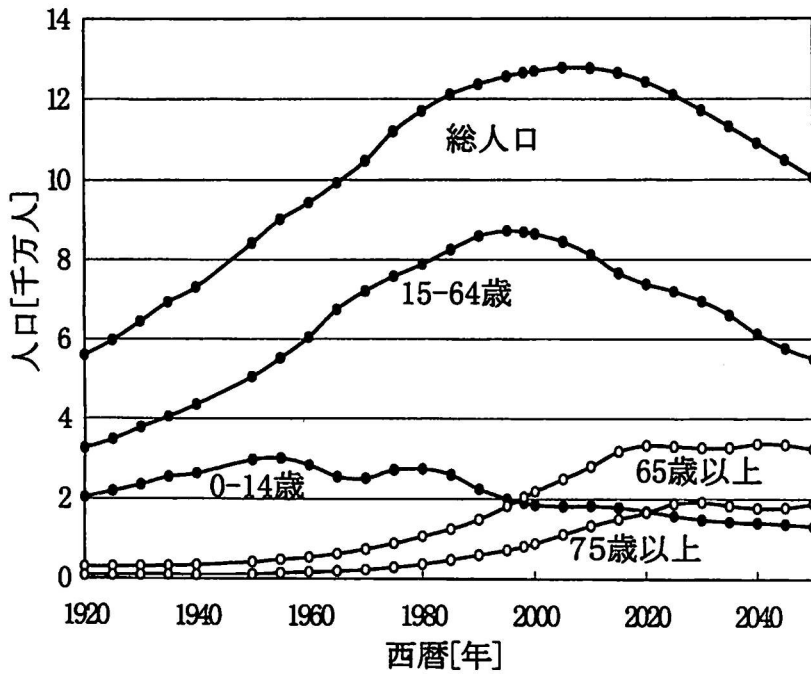


図1 年齢区分別人口の推移と将来推計



1	東京都	16.68
2	神奈川県	10.01
3	京都府	8.97
4	大阪府	7.61
5	宮崎県	7.32
6	兵庫県	6.99
7	福井県	6.47
8	奈良県	6.22
	全国平均	5.56
9	岐阜県	5.45
10	福岡県	5.40
11	愛知県	5.02
12	愛媛県	4.80
13	徳島県	4.52
14	鹿児島県	4.25
15	大分県	4.23
16	福島県	4.23
17	岡山県	4.12
18	和歌山県	3.88
19	岩手県	3.86
20	佐賀県	3.83
21	山口県	3.83
22	滋賀県	3.80
23	新潟県	3.80
24	鳥取県	3.71
25	熊本県	3.69
26	長野県	3.58
27	宮城県	3.51
28	青森県	3.46
29	沖縄県	3.38
30	秋田県	3.23
31	富山県	3.17
32	千葉県	3.15
33	高知県	3.14
34	島根県	3.06
35	石川県	3.06
36	長崎県	2.99
37	広島県	2.96
38	埼玉県	2.96
39	北海道	2.93
40	香川県	2.87
41	山梨県	2.83
42	群馬県	2.79
43	静岡県	2.65
44	山形県	2.19
45	栃木県	2.14
46	三重県	1.82
47	茨城県	1.63

図2 介護者の性別

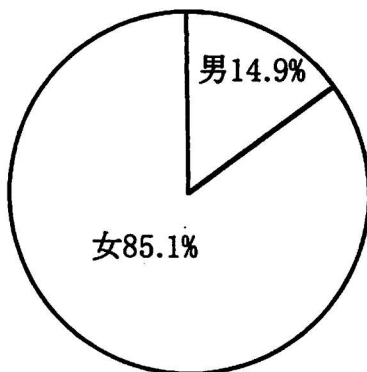


図3 寝たきり高齢者の介護者の年齢

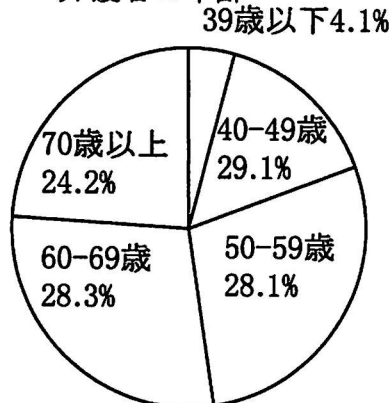


図4 寝たきり高齢者の主な介護者

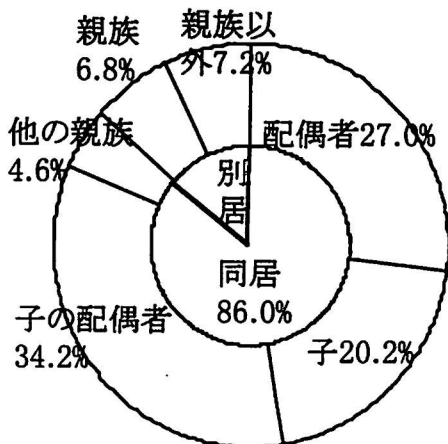


表1(右) 65歳以上の人口千人当たりのホームヘルパーの数。

ヨーロッパ福祉先進国と比べると、同じ条件の統計資料はないので単純比較できませんが、高齢者の人口比でいくと現時点でまだまだ少ないのは間違いないようです。

さらに日本国内でも、地域によって大きく異なる。ホームヘルパー(平成8年3月31日調査厚生省「社会福祉行政業務報告」、人口(平成7年10月1日「国勢調査」)

図6 寝たきり・痴呆性・虚弱高齢者の将来推計

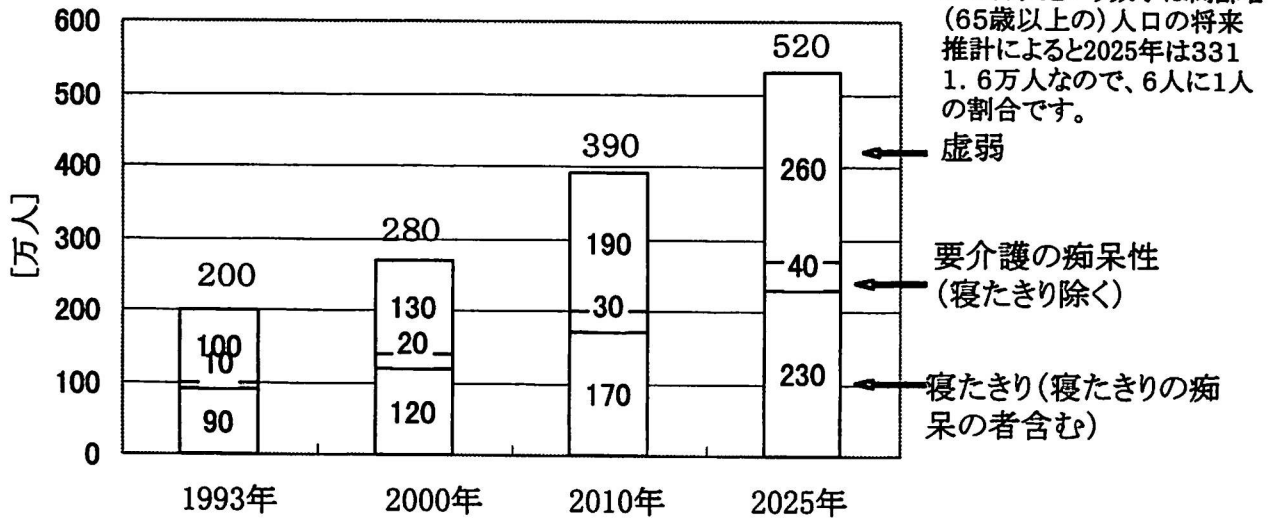


図7 障害者の種類別にみた身体障害者数の年次推移

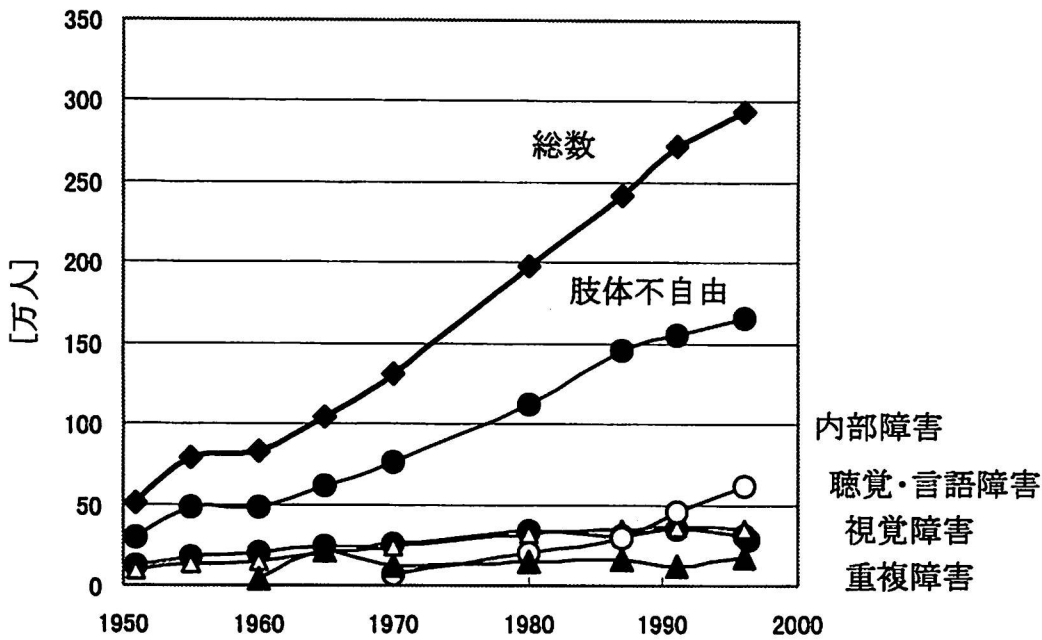


表2 年齢階級別にみた身体障害者の年次推移(人口千人対)

西暦	総数	18-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
1955	14.4	5.3	7.1	14.5	16	20.6			29.4
1960	13.7	5.2	5.4	10	16	20			39.1
1965	15.7	3.9	4.1	7.1	15.8	24.8			63.9
1970	17.9	3.3	4.9	7.7	15.8	29.7	40.9	56.2	63.7
1980	23.8	3.5	4.9	7	16	33.7	55.8	68.7	87.6
1987	26.7	2.2	4.9	9.1	15.7	31.7	56.9	72.9	88
1991	28.3	3.9	4.1	8.3	13.4	28.9	54.5	75.9	90.4
1996	28.9	2.3	3.8	7	12.2	26.2	49.6	62.3	94.6

図1, 7、表2は厚生白書平成11年度版、図2-6は、9年度版のデータより作成